



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月2日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東 大 名 札 福  
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 健嗣  
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）水野 雄氏（TEL）03(3296)3008  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	376,124	6.4	30,243	32.4	30,361	46.4	19,384	109.3
23年3月期第1四半期	353,508	22.2	22,845	-	20,735	-	9,262	-

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 26,401百万円（-%） 23年3月期第1四半期 2,077百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.86	-
23年3月期第1四半期	6.62	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	1,411,664	693,455	48.3	487.40
23年3月期	1,425,879	675,602	46.5	474.59

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 681,472百万円 23年3月期 663,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	5.00	-	6.00	11.00
24年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期(予想)	-	6.00	-	7.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	810,000	5.9	60,500	△4.8	60,000	0.7	35,000	23.0	25.03
通 期	1,724,000	7.9	120,000	△2.4	122,500	3.6	69,000	14.5	49.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日公表の業績予想を表示しており、今回見直しは行っていません。第2四半期連結決算時に見直しを行う予定です。

4. その他 (詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	1,402,616,332株	23年3月期	1,402,616,332株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	4,435,690株	23年3月期	4,420,688株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	1,398,191,137株	23年3月期1Q	1,398,370,776株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) セグメント別売上高及び営業利益 .....	12
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間) .....	13
(3) 主要項目の状況(連結) .....	13
(4) 住宅 請負事業の状況 .....	13
(5) その他の項目 .....	14
(6) 有利子負債残高(連結) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 業績全般

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月～6月、以下「当第1四半期」)における世界経済は、資源価格の高騰や欧州財政危機による金融不安の再燃などにより、景気回復は減速傾向にありました。また、日本経済は、東日本大震災で一時的に落ち込んだ生産活動が持ち直し、輸出が増加に転じるなど回復傾向が見られたものの、円高の進行や、電力供給不足問題などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第1四半期における連結業績は、住宅事業が「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」などの引渡戸数が増加したことにより業績を伸ばしたことや、ケミカル事業が旺盛な海外需要に支えられ市況が高水準で推移したことなどから、売上高は3,761億円で、前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)226億円(6.4%)の増収となり、営業利益は302億円で前年同期比74億円(32.4%)の増益となりました。また、経常利益は304億円で前年同期比96億円(46.4%)の増益となり、四半期純利益は194億円で前年同期比101億円(109.3%)の増益となりました。

## ② セグメント別概況

当社グループの6つの報告セグメント「ケミカル」「住宅」「医薬・医療」「繊維」「エレクトロニクス」「建材」及び「その他」に区分してご説明します。

## 「ケミカル」セグメント

売上高は1,860億円で、前年同期比76億円(4.3%)の増収となり、営業利益は194億円で、前年同期比41億円(26.9%)の増益となりました。

「ケミカル」セグメントは、石化・モノマー系事業では、好調なアジア需要によりアクリロニトリルなどの海外市況が高水準で推移しました。ポリマー系事業では、震災の影響により国内自動車向けエンジニアリング樹脂の販売量が減少しましたが、旺盛なアジア需要に支えられたタイヤ向け合成ゴムが好調に推移しました。また、高付加価値系事業では、イオン交換膜の販売量が増加し、「サララップ<sup>TM</sup>」などの消費材や医薬向け添加剤も堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「住宅」セグメント

売上高は792億円で、前年同期比147億円(22.8%)の増収となり、営業利益は36億円で、前年同期比46億円の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は946億円で、前年同期比53億円(5.9%)の増加となりました。

「住宅」セグメントは、建築請負事業において、戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」や集合住宅「ヘーベルメゾン<sup>TM</sup>」の引渡戸数が増加しました。また、分譲事業において、分譲マンションの引渡戸数が増加したことや、住宅周辺事業も堅調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「医薬・医療」セグメント

売上高は294億円で、前年同期比6億円(2.2%)の増収となり、営業利益は26億円で、前年同期比8億円(23.2%)の減益となりました。

「医薬・医療」セグメントは、医薬事業では、血液凝固阻止剤「リコモジュリン<sup>TM</sup>」の販売量が順調に増加したものの、研究開発費などが増加しました。また、医療事業では、ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>TM</sup>」の販売量が大幅に増加したものの、各製品が円高の影響を受けました。以上により、セグメント全体では増収・減益となりました。

## 「繊維」セグメント

売上高は277億円で、前年同期比13億円(4.7%)の増収となり、営業利益は14億円で、前年同期比2億円(17.2%)の増益となりました。

「繊維」セグメントは、各製品で円高や原燃料価格高騰の影響を受けたものの、スパンボンドなどの不織布

事業が販売量を伸ばし、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」やナイロン66繊維「レオナ™」の販売も好調に推移しました。また、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」も堅調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

#### 「エレクトロニクス」セグメント

売上高は398億円で、前年同期比11億円(2.8%)の減収となり、営業利益は48億円で、前年同期比4億円(8.5%)の減益となりました。

「エレクトロニクス」セグメントは、電子部品系事業において、スマートフォン向けミックスドシグナルLSIなどの販売量が順調に増加したものの、販売価格の下落や円高の影響を受けました。また、電子材料系事業においては、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の販売量が増加したものの、販売価格の下落や原燃料価格高騰の影響を受けました。以上により、セグメント全体では減収・減益となりました。

#### 「建材」セグメント

売上高は101億円で、前年同期比9億円(8.4%)の減収となり、営業利益は2億円で、前年同期比1億円(29.1%)の減益となりました。

「建材」セグメントは、構造資材事業が堅調に推移したものの、震災の影響により、茨城県のフェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」と軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」の工場が一時操業停止となったことや、基礎事業をはじめ各事業が建築工事の中断・延期の影響を受けたことなどから、セグメント全体では減収・減益となりました。

#### 「その他」

エンジニアリング事業や人材派遣・紹介事業からなる「その他」は、売上高は40億円で、前年同期比4億円(12.6%)の増収となり、営業利益は4億円で、前年同期比1億円(18.6%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産が304億円増加したものの、現金及び預金が247億円、受取手形及び売掛金が159億円減少したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて142億円減少し、1兆4,117億円となりました。

有利子負債は、長期借入金を返済したことなどにより、前年度末に比べて161億円減少し、2,378億円となりました。

純資産は、配当金の支払84億円があったものの、四半期純利益を194億円計上したことなどから、前年度末に比べて179億円増加し、6,935億円となりました。この結果、自己資本比率は48.3%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加282億円、法人税等の支払額202億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益285億円、減価償却費184億円、売上債権の減少154億円などの収入があったことから、129億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出126億円、定期預金の預入による支出65億円などがあったことから、188億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出140億円、配当金の支払額84億円などがあったことから、263億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物が、為替換算により11億円、連結の範囲の変更により15億円、関係会社の報告期間変更に伴い5億円それぞれ増加しました。以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より291億円減少し、1,054億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に公表した当第2四半期累計期間の連結業績予想に対し、売上高については減収となる見通しですが、営業利益、経常利益及び当期純利益については、主に第1四半期連結累計期間の石化・モノマー系事業における海外市況が高水準で推移した「ケミカル」セグメントや、戸建住宅の収益率が改善している「住宅」セグメントなどの業績が前回予想を上回ることから、グループ全体としては増益となる見通しです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今回見直しは行っていません。第2四半期連結決算発表時に見直しを行う予定です。

(第2四半期連結累計期間)

(単位：億円)

	前回予想(A) 平成23年5月11日公表	今回修正(B)	増減額 (B-A)	前年第2四半期 連結累計期間
売上高	8,270	8,100	△170	7,648
営業利益	505	605	100	635
経常利益	505	600	95	596
四半期純利益	285	350	65	285

(注) これらの業績予想はナフサ価格が¥57,000/k1、為替レート¥81/\$・¥116/€(第2四半期連結累計期間平均)を前提条件としています。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し法人税等として表示しています。

## (2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	140,319	115,648
受取手形及び売掛金	273,414	257,508
有価証券	371	93
商品及び製品	129,898	136,607
仕掛品	76,551	98,695
原材料及び貯蔵品	49,799	51,349
繰延税金資産	23,131	25,900
その他	63,240	58,366
貸倒引当金	△1,072	△1,077
流動資産合計	755,651	743,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	409,263	410,187
減価償却累計額	△231,474	△232,847
建物及び構築物（純額）	177,789	177,340
機械装置及び運搬具	1,192,132	1,201,107
減価償却累計額	△1,047,912	△1,056,959
機械装置及び運搬具（純額）	144,220	144,149
土地	55,243	55,456
リース資産	8,581	9,179
減価償却累計額	△3,118	△3,501
リース資産（純額）	5,463	5,678
建設仮勘定	22,173	21,665
その他	118,718	119,229
減価償却累計額	△105,252	△105,808
その他（純額）	13,466	13,422
有形固定資産合計	418,354	417,709
無形固定資産		
のれん	5,087	4,932
その他	26,015	25,128
無形固定資産合計	31,101	30,060
投資その他の資産		
投資有価証券	166,317	170,959
長期貸付金	5,181	4,870
繰延税金資産	22,005	17,793
その他	27,507	27,412
貸倒引当金	△237	△229
投資その他の資産合計	220,773	220,805
固定資産合計	670,228	668,574
資産合計	1,425,879	1,411,664

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,407	136,693
短期借入金	108,889	100,569
コマーシャル・ペーパー	23,000	19,000
リース債務	1,522	1,656
未払法人税等	24,085	11,932
未払費用	97,745	81,353
前受金	52,346	59,682
修繕引当金	3,239	3,418
製品保証引当金	2,465	2,123
資産除去債務	512	508
その他	39,668	45,096
流動負債合計	489,878	462,029
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	91,722	87,547
リース債務	3,802	4,015
繰延税金負債	6,374	6,868
退職給付引当金	107,309	107,634
役員退職慰労引当金	1,119	763
修繕引当金	2,131	1,592
資産除去債務	3,316	3,363
長期預り保証金	18,340	18,173
その他	1,284	1,227
固定負債合計	260,399	256,180
負債合計	750,277	718,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,402	79,403
利益剰余金	478,681	489,915
自己株式	△2,115	△2,123
株主資本合計	659,357	670,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,647	32,785
繰延ヘッジ損益	△140	△6
為替換算調整勘定	△25,299	△21,889
その他の包括利益累計額合計	4,209	10,889
少数株主持分	12,036	11,983
純資産合計	675,602	693,455
負債純資産合計	1,425,879	1,411,664



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	353,508	376,124
売上原価	262,490	276,562
売上総利益	91,019	99,562
販売費及び一般管理費	68,173	69,319
営業利益	22,845	30,243
営業外収益		
受取利息	206	313
受取配当金	1,049	1,145
持分法による投資利益	443	716
その他	961	994
営業外収益合計	2,658	3,168
営業外費用		
支払利息	871	715
為替差損	2,296	1,207
その他	1,601	1,128
営業外費用合計	4,768	3,050
経常利益	20,735	30,361
特別損失		
投資有価証券評価損	136	35
固定資産処分損	1,051	539
減損損失	18	27
環境対策費	604	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,240	—
災害による損失	—	600
事業構造改善費用	3,873	611
特別損失合計	6,923	1,813
税金等調整前四半期純利益	13,813	28,548
法人税等	4,130	8,886
少数株主損益調整前四半期純利益	9,683	19,662
少数株主利益	421	278
四半期純利益	9,262	19,384

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,683	19,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,219	3,156
繰延ヘッジ損益	110	134
為替換算調整勘定	724	2,808
持分法適用会社に対する持分相当額	△221	642
その他の包括利益合計	△7,606	6,739
四半期包括利益	2,077	26,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,706	26,065
少数株主に係る四半期包括利益	371	336

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,813	28,548
減価償却費	19,808	18,361
減損損失	18	27
のれん償却額	265	269
負ののれん償却額	△67	△58
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△4,549	△360
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△730	△346
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△291	284
受取利息及び受取配当金	△1,255	△1,458
支払利息	871	715
持分法による投資損益 (△は益)	△443	△716
投資有価証券評価損益 (△は益)	136	35
固定資産処分損益 (△は益)	1,051	539
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,114	15,357
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,075	△28,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,740	△1,340
未払費用の増減額 (△は減少)	△16,520	△16,357
前受金の増減額 (△は減少)	13,737	7,349
その他	12,287	8,975
小計	12,683	31,612
利息及び配当金の受取額	1,692	2,274
利息の支払額	△931	△786
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△11,619	△20,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825	12,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△238	△6,504
定期預金の払戻による収入	—	2,804
有形固定資産の取得による支出	△14,140	△12,604
無形固定資産の取得による支出	△1,211	△1,572
投資有価証券の取得による支出	△578	△457
投資有価証券の売却による収入	329	196
貸付けによる支出	△787	△711
貸付金の回収による収入	829	749
その他	△437	△696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,232	△18,795

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	822	448
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	13,000	△4,000
長期借入れによる収入	207	831
長期借入金の返済による支出	△574	△14,036
リース債務の返済による支出	△287	△427
自己株式の取得による支出	△17	△9
自己株式の処分による収入	3	1
配当金の支払額	△6,992	△8,389
少数株主への配当金の支払額	△361	△470
その他	98	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,898	△26,251
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,214	△31,087
現金及び現金同等物の期首残高	93,125	134,450
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	876	1,528
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	469
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,788	105,360

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別売上高及び営業利益

## (a) 連結売上高

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額	増減率 %	H24/3期
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績			第2四半期 累計見通し
ケミカル	1,784	1,860	76	4.3	3,890
住宅	645	792	147	22.8	1,920
医薬・医療	287	294	6	2.2	600
繊維	265	277	13	4.7	550
エレクトロニクス	409	398	△11	△2.8	810
建材	110	101	△9	△8.4	240
その他	35	40	4	12.6	90
合計	3,535	3,761	226	6.4	8,100

## (b) 連結営業利益

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額	増減率 %	H24/3期
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績			第2四半期 累計見通し
ケミカル	153	194	41	26.9	350
住宅	△9	36	46	—	150
医薬・医療	33	26	△8	△23.2	45
繊維	12	14	2	17.2	20
エレクトロニクス	52	48	△4	△8.5	75
建材	3	2	△1	△29.1	10
その他	3	4	1	18.6	10
小計	248	325	76	30.8	660
消去又は全社	△20	△22	△2	—	△55
合計	228	302	74	32.4	605

## (2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差		コスト差等	計
			内 為替因		
ケミカル	14	87	△50	△59	41
住宅	35	6	—	5	46
医薬・医療	21	△8	△2	△21	△8
繊維	0	4	△6	△2	2
エレクトロニクス	34	△52	△13	14	△4
建材	△1	△2	—	2	△1
その他	1	0	0	△0	1
消去又は全社	—	—	—	△2	△2
合計	103	36	△71	△65	74

## (3) 主要項目の状況(連結)

		H23/3期	H24/3期
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績
設備投資額(有形)	億円	167	136
設備投資額(無形)	億円	10	11
投資有価証券の取得額	億円	6	5
減価償却費	億円	201	186
金融収支 (内 受取配当金)	億円	4 (10)	7 (11)
四半期末人員	人	25,393	25,378
D/Eレシオ		0.44	0.34

## (4) 住宅 請負事業の状況

		H23/3期	H24/3期	増減	増減率 %	H24/3期
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績			第2四半期 累計見通し
受注戸数	戸	3,840	4,066	226	5.9	8,110
受注高	億円	893	946	53	5.9	1,860
受注残高	億円	3,557	4,031	475	13.3	4,070
売上戸数	戸	1,566	2,061	495	31.6	5,570
売上高	億円	408	510	102	25.0	1,385

## (5) その他の項目

		H23/3期	H24/3期	増減	H24/3期	
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		第2四半期 累計見通し	
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	49,600	59,000	9,400	57,000	
為替レート(相場平均)	¥/\$	92	82	△10	81	
	¥/€	117	117	0	116	

## (6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第1四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,089	1,006	△83
コマーシャル・ペーパー	230	190	△40
長期借入金	917	875	△42
社債	250	250	—
リース債務	53	57	3
合計	2,539	2,378	△161